

# 第13回 行動理解・支援力 パワーアップセミナー

## 開催要項

**知** 知的障害援助専門員や知的障害福祉士等の有資格者や知的障害援助専門員通信教育を現在受講中の方、また社会福祉士養成所卒業生に対するフォローアップを目的とする「行動理解・支援力パワーアップセミナー」を開催します。知的障害者に対する行動理解と、支援者の支援力の向上を目指し、日頃現場において抱えている問題点等の実践事例を参加者同士の意見交換をとおして、問題解決のための共同研究や共通理解を行います。

研修内容として、第1講義は「自閉症の特性と構造化の意義」、第2講義は「知的発達障がいのある人への合理的配慮・意思決定支援」について学びます。また、事例検討ではインシデントプロセス法やブレン・ライティング法といった技法を活用し、課題解決に向けた方法（手段）をワークショップから学んでいただきます。さらに懇親会では、講座を担当する講師や、全国から参加した仲間との出会いもあり、貴重な情報を共有するネットワーク形成の機会ともなります。

本セミナーをとおして、専門職としての自覚と専門的知識を高め、自分自身を成長させる機会として是非活用してください。

※資格取得者、通信教育受講生以外でも本セミナーに参加可能です。  
詳細は、下記の「参加対象」をご確認ください。

**主催**：公益財団法人日本知的障害者福祉協会 人材育成・研修委員会

**期 日**：平成26年10月11日（土）・10月12日（日）

**会 場**：「AP 浜松町 C ルーム」 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館地下 1 階

**定 員**：75名（先着順）

**参加対象**：知的障害援助専門員もしくは知的障害福祉士資格取得者  
知的障害援助専門員通信教育受講生  
社会福祉士養成所卒業生（直接対人援助業務で実務経験3年以上の方）  
障害福祉施設・事業所の職員（直接対人援助業務で実務経験3年以上の方）

**日 程**：

### 【第1日目 10月11日(土)】

12:00 12:15 12:30 14:00 14:15 15:00 15:15 16:15 17:30 18:00 20:30

受付	オリエン テーション	第1 講義	休憩	事例検討の 方法	休憩	オリエン テーション	事例検討 ①	移動	懇親会
----	---------------	-------	----	-------------	----	---------------	-----------	----	-----

### 【第2日目 10月12日(日)】

9:15 10:15 10:30 11:30 12:15 13:15 14:00 14:15 15:45 16:00

事例検討 ②	休憩	事例検討 ③	休憩	事例検討 ④	まとめ	休憩	第2 講義	閉会式
-----------	----	-----------	----	-----------	-----	----	-------	-----

<研修内容・流れ>

テーマ・講師・内容		
第1日目	第1講義	<p><b>“自閉症の特性と構造化の意義”</b>  <b>小林 信篤</b> (社会福祉法人横浜やまびこの里)</p> <p>自閉症の人たちの対応について、支援の考え方の一つとしてTEACCHプログラムがあります。今回は、実際に現場で役立てていただけるように、構造化のアイデアを中心に自閉症の支援の組み立て方を紹介し、皆さんの現場で役立てていただきたいと思います。</p>
	事例検討の方法	<p><b>“事例検討の方法”</b>  <b>齊藤 宇開</b> (たすく株式会社)</p> <p>知的障害福祉に携わる私たちにとって事例検討とは、日常の業務における大切な職務の一つです。本セミナーでは、参加メンバーが相互にインシデント(出来事)を提示し、その背景の事実を質問形式で引き出しながら、課題解決を考えて行く研修技法であるインシデント・プロセス法から始め、沈黙のブレン・ストーミングと言われている、ブレン・ライティング法を併用した事例検討の方法について紹介します。</p>
	オリエンテーション事例①②③④	<p>オリエンテーションで学んだ研修技法を具体的に用いて行っていきます。また、参加者全員より主に『<b>行動障害に関する事例</b>』を別紙作成要領(P5参照)のとおり作成いただき、当日発表していただきます。そのうち4事例を選択し事例検討を行います。各講師の方法論のもと、インシデントプロセス法を用いながら様々なアプローチによる検討を行います。次にブレン・ライティング法を用いて、グループごとに具体的な方法を発表します。なお、講師は事例検討ごとに入れ替わります。</p>
第2日目	第2講義	<p><b>“知的・発達障がいのある人への合理的配慮・意思決定支援などについて”</b>  <b>又村 あおい</b>            (元社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会政策開発研究センター)</p> <p>知的・発達障害のある人を取り巻く法制度、とりわけ権利擁護に関する法制度は、大きく変貌を遂げつつあります。特に、障害者基本法や障害者総合支援法に規定された「意思決定支援」や、障害者差別解消法や障害者雇用促進法に規定された「合理的配慮」の考え方は、これまでの「事後救済型」とは一線を画す、いわば「事前対応型」の権利擁護であるといえるでしょう。今回は、この「意思決定支援」と「合理的配慮」を中心にお話いたします。</p>

**参加費：** 10,000円 (知的障害福祉士・援助専門員資格取得者、通信教育受講生)  
 12,000円 (日本知的障害者福祉協会社会福祉士養成所卒業生 ※現場経験のある方のみ対象)  
 15,000円 (施設長の推薦による申込者 ※後日推薦書を送付いたします)

**交流会費：** 4,000円 (予定) ※参加希望の方は、申込書にご記入ください。

**宿泊：** 7ページに会場周辺の宿泊施設を記載しておりますので、ご希望の方は申込書に必要事項をご記入ください。後日、(株)日本旅行よりご案内いたします。

**参加申込み：**

- ①P8「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送にて**日本知的障害者福祉協会通信教育部**あてに**9月15日(月)必着**でお申込みください。(FAXでの申込は不可とさせていただきます)
- ②申込みをされた方には、**参加確認証と入金のご案内**をいたします(9月22日頃予定)。
- ③先着順とさせていただきますので、定員を超えた場合には、締切日前でも参加をお断りさせていただきます。
- ④参加申込書のコピーを控えとしてお手元に残してください。

開催事務局

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 通信教育部

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6階

TEL03-3438-0984

## オリエンテーション・事例検討①②③④の内容

### ●オリエンテーション

予定時間(分)

15:15~16:15	60'		
15:15~15:20	5'	●講師自己紹介	
15:15~15:25	10'	●参加者自己紹介	① 6~8名程度で1グループの構成 ② 1グループで4名が事例を立てる
15:25~15:55	30'	●事例発表(メンバー全員)	
15:55~16:15	20'	●4事例の発表者を決定 ●記録者の決定	

### ●事例検討①②③④

予定時間(分)

60'	事例検討①②③④
5'	インシデントプロセス法の開始
10'	事例説明
10'	事例提供者に対する質問
10'	グループワークの開始
15'	各グループの発表(お手紙を書く)
5'	事例提供者によるコメント
5'	お手紙の提供・事例検討者の感想

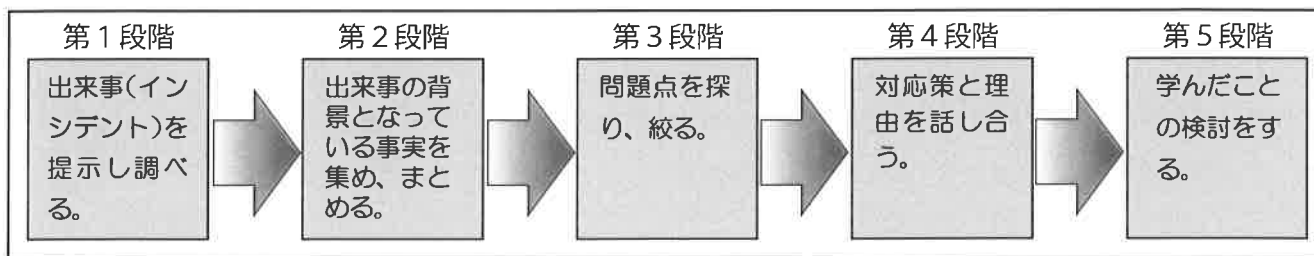
### インシデントプロセス法の特長

発表者の出来事の記事をもとに、参加者が質問により事例の概要を明らかにし、原因と対策を考えていきます。はじめに参加者に提示される情報はごく僅かであるため、参加者が発表者に質問しながら、必要な情報をいかに収集していくか、その過程が重要です。そのため、問題発見の能力、情報を収集・整理し分析していく能力の開発のための技法として効果的です。

### インシデント・プロセス法を用いると

情報収集能力	→ 短時間で必要な情報を正確に収集する	を高めることができる。
情報分析能力	→ 情報を分析して問題の核心を突き止める	
意思決定能力	→ 的確な意思決定をする	

### インシデント・プロセス法による事例研究の手順



#### インシデントプロセス法:

参加メンバーが相互にインシデント(出来事)を提示し、その背景の事実を質問形式で引き出しながら課題解決を考えていく研修技法。インシデントの事前の提出は必要ありませんが、参加者には当日1事例を発表していただき、その中から4事例を課題として選びます。

#### ブレイン・ライティング法:

議論をせず紙にアイデアを書き出す手法。書き出したアイデアを回覧板のように順番に回しながら、前の人のアイデアから新しいアイデアを生み出していく。単独で発想するスタイルのため、参加メンバーが身分や立場の違いを意識することなく発想することが期待できる。

## 別紙作成要領(見本)

<p><b>タイトル</b> (今困っている課題について)</p>	<p>例) Aさんの攻撃的な言動で仲間づきあいが難しくなっている件について</p>
<p><b>目標</b> (あなたもしくはあなたたちの希望)</p>	<p>例) Aさんに攻撃的な言動を止めてもらい、情緒も穏やかになってほしい</p>
<p><b>利用者の情報</b></p>	<p><b>利用者の情報 (基本情報)</b> 例) 年齢:50代 性別:女性 IQ:不明 療育手帳:愛の手帳4度 身障手帳:なし 精神保健福祉手帳:なし 支援区分:区分3 要介護度:まだ</p>
	<p><b>生物的なこと (疾病・障害・気質及び治療, 服薬内容)</b> 例) 50代でてんかん発作初発 そううつ傾向があり。 服薬 デパケン200mg1錠(朝) テトラミド10mg1錠(朝)</p>
	<p><b>心理的なこと (不安, 葛藤, 希望, 感情等)</b> 例) 多弁でうるさい時と寡黙で無表情な時がある。多弁でうるさい時は、仲間の言動を非難・攻撃。「なぜ作業をしないか?」「どうして食事中オナラっているの?」指摘自体は間違っていないが、激しく言うため、相手を泣かせたり、ののしりあいになってしまったりする。穏やかな時は「もう言わない事にする」と反省がみられるが、すぐ繰り返す。</p>
	<p><b>社会的なこと (家族, 事業所, 施設等)</b> 例) 在宅で生活。母親が要介護状態になり、老人ホームに入居。短期入所も転々と利用し、この間、在宅に戻ると、万引きや衝動買いを行なう。自身も訪問販売の被害にあったため、現在の就労継続支援 B 型事業所の利用を開始。GH に入居して生活はやっと安定した。他利用者との関係について、職員が指摘すると、「もっと厳しく注意して!」と逆に批判し、全体的に関係が悪循環している。</p>
<p><b>支援経過</b> (具体的にどのような働きかけをしてきたか。成功例・失敗例も含める)</p>	<p>例)①本人を応援する姿勢で個別面談を行ない、反省や考えを穏やかにしてもらう。 →「言っていない」と防衛的になったり、面談自体を嫌がる。 ②一日トラブルがなければ、工賃 500 円 UP とした。 →コントロールにはならない。 ③医療相談で医師からスタッフがアドバイスを受ける →Dr.からは、自分の思いをはっきり言葉に出来るレベルなので、きちんとルールを説明して、聞けないなら出勤停止にするくらいの強い対応が必要と言われる。  最近では、仲間からのクレームも多く、付き合う人もいない手詰まり状態である。</p>
<p><b>グループワークでの検討点と結論</b> (セミナーで記載 お手紙作りの資料)</p>	

※事前に研究事例を作成し、当日ご持参ください。

# 宿泊施設のご案内

宿泊設定日：平成 26 年 10 月 10 日（金）・11 日（土）2 日間

## 1. 相鉄フレッサイン浜松町大門（会場まで徒歩 8 分程度）

東京都港区芝大門 1-2-7 TEL: 03-5472-2031

料金 10 月 10 日 ￥13,200 円（税サ込み）

10 月 11 日 ￥14,200 円（税サ込み）

〔シングルルーム 1 泊 朝食付き〕

<http://fresa-inn.jp/daimon/index.html>

## 2. 東京グランドホテル（会場まで徒歩 5 分程度）

東京都港区芝 2-5-2 TEL: 03-3456-2222

料金 10 月 10 日 ￥11,200 円（税サ込み）

10 月 11 日 ￥11,200 円（税サ込み）

〔シングルルーム 1 泊 朝食付き〕

<http://www.tokyogrand.gr.jp/>

※ご希望の宿泊施設が満室となる場合もありますので、お早目にお申込みください。

※参加と合わせてご宿泊をお申込みの方には、(株)日本旅行より宿泊案内・宿泊施設地図・振込案内を送付いたします。

（取消料のご案内） 宿泊をお申込み後、お取消しの場合は、下記の料率で取消し料がかかります。

取消日	4 日前以前	3～2 日前	前日	当日	無連絡・不泊
取消料	無料	20%	20%	20%	100%

### 【個人情報のお取扱いについて】

当社は、参加申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、ご参加者との間の連絡のために利用させていただく他、申込みいただいた宿泊において宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。このほか当社の個人情報の取扱いに関する方針等についてはホームページ (<http://www.nta.co.jp>) にてご確認ください。

### ●宿泊に関してのお問い合わせ

株式会社日本旅行 東京法人・コンベンション営業部 担当：島田・西山

〒160-0017

東京都新宿区左門町 16-1 四谷 TN ビル 4 階

TEL：03-5369-4535 FAX：03-3225-1008

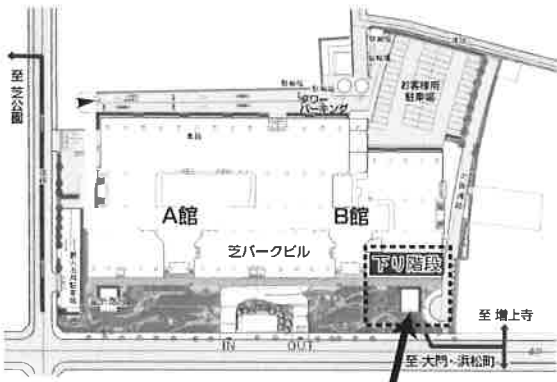
営業時間：月曜～金曜 9:30～17:30（土日祝祭日はお休み）

# ●AP浜松町ビルへのアクセス



東京グランドホテル

**会場:**  
 AP浜松町(芝パークビルB館地下1階)  
 JR浜松町駅南口 S5出口徒歩10分  
 東京都港区芝公園2-4-1  
 ダヴィンチ芝パークB館地下1階  
 電話:03-5405-6109



懇親会場【龍記】...予定



AP浜松町メインエントランス(B館)

# 第13回 行動理解・支援力 パワーアップセミナー参加申込書

知的障害福祉士 (番号)を記入	知的障害援助専門員 (番号)を記入	知的障害援助専門員 通信教育(番号)を記入	社会福祉士養成所 (学籍番号)を記入	施設長による推薦の 場合(○)を記入
〒 _____ _____ 都・道・府・県 TEL: _____ 携帯: _____				
フリガナ	氏名		性別	懇親会
	男・女		参加する ・ 参加しない	
希望の施設に○をし て下さい	宿泊施設	相鉄フレッサイン浜松町大門	宿泊日 (希望日を○をしてください)	宿泊ルーム (希望欄に○をしてください)
			10/10(金)…前泊	喫煙
		東京グランドホテル	10/11(土)…当泊	禁煙
勤務先 名称	職名		今回の参加は	
E-mail アドレス	@		初めて ・ ( ) 回目	

- ☆知的障害福祉士No・知的障害援助専門員No・通信教育受講No, 社会福祉士養成所Noのうち, どれかをご記入ください。
- ☆「施設長による推薦」でお申込みの方は「○」をしてください。別途推薦書を提出していただきます(後日書類を送付いたします)。
- ☆「懇親会」は選択となっておりますので, どちらかに必ず「○」をしてください。
- ☆「宿泊」をご希望の方は, 7ページ「宿泊施設のご案内」を確認いただき, 希望される宿泊施設・宿泊日等に「○」をしてください。また, 必要としない方は未記入としてください。希望された方には, (株)日本旅行よりご案内いたします。
- ★Eメールにて連絡する場合がありますので, お持ちの方は所定の欄へご記入ください(携帯可)。
- ★お申込み確定後に, 参加費等の郵便振替用紙を送付いたします(宿泊費除く)。
- ★お振込みいただいた参加費の返金はいりません。当日欠席の場合は, 後日資料を送付いたします。
- ★この申込み用紙のコピーを, 必ず控えとしてお取りください。

申込先 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 通信教育部係

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX浜松町ビル 6階

締切り:平成26年9月15日(月)必着